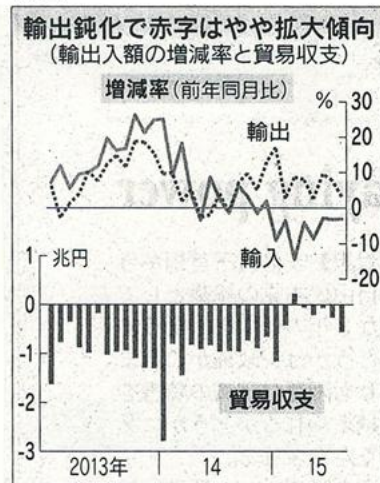


- 09/14・中国景気、減速鮮明に 投資伸び率、15年ぶり低水準(8月) < 1 >
・独、難民に入国審査 流入制限、列車を一時停止 各国受け入れへ圧力
⇒ポイント解説(24) 参照
- 09/15・中国、国有企業を巨大化 国家主導で統合加速 市場を占有、ひずみも
現在110社の国有企業を統合し、2020年までに40社程度への集約を目指す
既得権層の抵抗必至 新たな権力闘争の火種に
・アボット豪首相辞任 党首選、雇用悪化で交代 資源安で経済失速
- 09/16・与党、軽減税率を再検討 消費増税、還付案も並行で
・北朝鮮「核施設全て稼働」 6カ国合意破棄 核実験の可能性示唆
- 09/17・日本貿易赤字、5697億円に拡大(8月) 対中輸出減 < 2 >
・日本家計金融資産、最高に 6月末1717兆円 株高・円安で
- 09/18・米利上げ見送り(17日FOMC) 世界経済先行き警戒 年内実施は堅持 < 3 >
FRB縛る中国不安 米賃上げ停滞も警戒 利上げ予想、12月大勢
⇒ポイント解説あります
FOMC: 米連邦公開市場委員会 FRB: 米連邦準備制度理事会
・TPP、30日から閣僚会合 大筋合意へ3つの難所 ⇒ポイント解説(19) 参照
乳製品の輸入枠 車関税のルール 新薬の保護期間
- 09/19・安保法案成立へ、参院本会議で可決 戦後政策の大転換 ⇒ポイント解説(16) 参照
集团的自衛権行使可能に 広がる自衛隊活動、米軍との連携深まる 米歓迎、中国は警戒
・米利上げ見送り 新興国、市場リスク晴れず 狭まる選択肢 < 4 >
マレーシア・ブラジル・インドネシア…資金流出追加対策も
・EU支援国の景気上向く ポルトガル、スペイン、アイルランド < 5 >
増税、歳出削減など緊縮政策で高い失業率 改革の成果、選挙で問う
- 09/21・火力、石炭は5割まで 経産相が規制 電力会社、来年度から
・内閣支持率40%に低下 安保法「評価せず」54% (日経世論調査) < 6 >
内閣不支持は47% 安保法成立評価するは31% 集团的自衛権行使賛成28%反対53%
- 09/22・ギリシャ総選挙、与党勝利 チプラス氏が首相続投 ⇒ポイント解説(15) 参照
EUと合意した財政緊縮策は維持される見通し

< 1 >



< 2 >



< 3 >

FRB議長会見とFOMC声明のポイント

米経済の底堅さを強調

他国の不安要因でも米経済活動の見通しは大きく変わらず

15年前半の実質GDP成長率は2%超と6月時点予測よりだいぶ強い

ドル高と外需低迷に伴う純輸出の不振が米成長の大きな足かせに

雇用者数はこの3カ月、月平均22万人増。完全雇用に向け改善進む

世界経済は不確実な

中国だけでなく新興国全体に成長見通しへの不安強まる

原油・商品安がカナダを含む資源輸出国に打撃

中国は経済のリバランス(資源配分の再調整)の過程にあり、一定の景気減速は想定済み

利上げ時期には言及せず

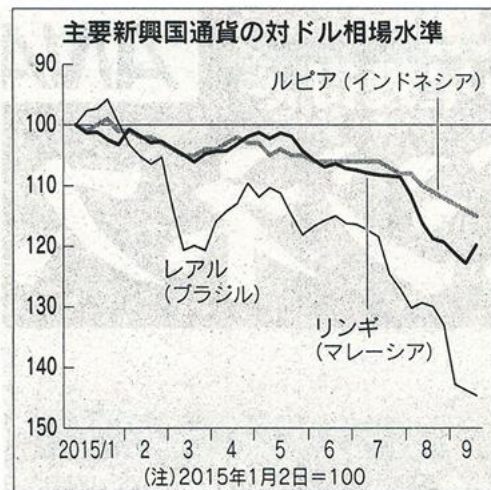
海外の不確実性は高く、米インフレ率も軟化しており利上げにはさらなる(回復の)証拠が必要

雇用とインフレに「さらにいくらかの改善」を確認できれば利上げ

すべてのFOMC会合で利上げを検討し、10月も可能性がある

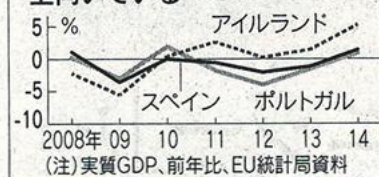
大半のFOMCメンバーは年内利上げを支持

< 4 >



< 5 >

改革を進める各国の成長率は上向いている



< 6 >

